

港区立麻布小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や相手に応じて文章を書くことを苦手としている。また、書く力の個人差が大きい。 ・助詞、拗音、ローマ字、漢字など、基本的な文字や語句の使い方の定着率が低い。 ・文章構成や段落構成など、文章の構造を捉えて読むことを苦手としている。 ・自分の考えを正確に伝えたり、相手の話の内容を正確に聞いたりすることを苦手としている。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と自分とのつながりに関する知識・理解が不足している。 ・地図記号を活用して、その土地の使われ方の特色などの情報を読み取ることを苦手としている。 ・各社会事象や施設について、資料や経験をもとに考察することを苦手としている。 ・「世界の中の日本の国土」の知識・理解の定着が不十分である。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の理解度に大きく差がある。 ・文章題において、問題文から内容を読み取り、立式まで至らない場合がある。 ・身近にある「かさ」や「重さ」を考察する問題の正答率が低い。 ・余りのあるわり算（小数を含む）を考察する問題について、つまずきが多い。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・器具や機材の使用法の知識や技能が定着していないため、正しく実験を行うことができないことがある。 ・予想・結果・考察・結論の段階の流れが定着していないことがあり、自分の考えをしっかりともち見通しをもった学習を進めることが難しい。 ・予想・結果をもとに自分の考えをまとめる技能・表現力が不十分である。

2 各教科の具体的な授業改善

国語	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	言語活動を行う際に、自分の必要な言葉に着目したり、活用したりする力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年間の系統性を意識し、指導内容を各担任が把握できるようにする。 ・話型や文型を用いて、適切な言葉の使い方を身に付けさせる。 ・日常的に語彙に触れる言語環境を整える。

社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	地図や資料などからの確に情報を読み取り、それらを活用して課題を解決する力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地図から情報を読み取らせ、写真や映像などと比較することで、地図や地図記号の有用性を味わわせ関心を高めていく。 ・資料を読み取る時間を十分に確保したり、単元で学習した言葉や資料を用いて自分の言葉で振り返る時間を意図的に設けたりする。その時間を通して、自分に必要な情報を抜き出し、活用する力を身に付けさせる。

算数	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	問題文を的確に読み取って立式でき、また正しく計算できる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の理解を深めるために図や絵（具体物や半具体物）で場面を説明したり、立式の理由を話したりする学習活動を展開する。 ・既習内容の振り返りを行い、つまずきがどこにあるのか明確にし、繰り返し指導を行う。

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	問題解決型の学習展開を継続して実施する。その学習展開を通して児童が学習の進め方を理解し、見通しをもって学習ができる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して見通しをもたせるために、単元の内容を工夫し、子供自らが、自分の考えをもちそれを表現することができるようにする。 ・予想や結果などを整理して記録する機会を意識的に設定する。 ・実験の手法や課題解決の方法などの習得と定着に継続的に取り組む。

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	身近な人々や社会・自然について、自分との関わりで捉えたり自ら働きかけたりして、学習できる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・試行、予測、工夫を通して新たな気づきを生み出し、さらに振り返りにより気づきの質を高められるようにする。 ・毎時間の児童の振り返りを全体に紹介したり焦点を当てさせたりして、主体的に取り組めるようにする。

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	豊かに発想したり表現したりする意欲を一人一人にもたせ、さらに集団で協調して表現していく力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が、相手の取り組みや演奏・歌唱に関心をもち、感想や助言を伝えたり、自分の演奏や歌唱に生かそうとしたりする。 ・合奏、合唱の活動を通して協調することの良さに気付かせる。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	表現や鑑賞の活動を通して、造形的な見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の色や形などと豊かに関わる資質・能力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形を組み合わせて、自分の思いを工夫して表すことができるように、題材・場の設定を工夫する。道具を使う際は、安全に正しく使えるように繰り返し指導する。 ・児童同士が作品を見合う時間を多く取り入れ、よさや面白さを進んで伝え合うことができるように指導を行う。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	体験的な活動を通して、その活動の日常生活における位置付けや意義を理解しながら、技能を身に付け、家庭生活をよりよくしようとする資質・能力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動や実技系の領域の学習内容に重きを置きつつも、その準備や振り返りの中に、知識や思考を伴う活動を設け、児童の意欲が持続して活動に取り組めるように工夫していく。

体	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	----------------------

	<p>運動することの得手、不得手にかかわらず、身体を動かすことの楽しさを感じることができ、また、生涯を通して運動・スポーツを自ら実践できる力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量の確保に留意して、体育の授業内容を展開する。 ・様々な体の動かし方を数多く体験させて、身に付くようにする。また、運動能力の差があっても、どの児童も意欲的に取り組めるようにゲームのルールを工夫したり、できる楽しさを味わったりできるようにする。
--	--	---

国際	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<p>英語の理解力に応じた実践的能力を養い、国際コミュニケーションの基礎を培う。広く世界に目を向け、他国の文化などを理解しようとする姿勢を身に付けようとする力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任と NT の連携を密にし、1 時間ごとの到達目標「Today' s Goal」を事前に共通理解した上で、各学年・各学級の実態に応じた学習内容を検討・確認してから授業を行う。 ・担任と NT とで授業後に内容の振り返りを行い、英語の言葉の難易度やアクティビティの内容などが妥当であったかどうかの課題を明らかにして、次回の授業に生かす。

道徳	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<p>道徳的価値を自分事として受け止め、自己の生き方についての考えを深め、よりよく生きようとする意欲や実践しようとする資質・能力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・価値項目を吟味し、児童が自分事としてとらえることができる学習課題を考える。また、児童が興味関心をもつことができる資料提示の仕方（紙芝居、パネルシアター、ICT 機器の活用など）を工夫する。 ・道徳の時間だけでなく、学校生活全般において、道徳的心情が育つよう様々な教科と関連させて指導していく。

特別活動	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<p>学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりのために、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育成する力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動において、よりよい学級づくりのための話し合う議題を提案できる環境、手段を整え、児童が主体的に活動に関われるようにする。 ・どのように活動したらよいか分からない児童には具体的な手立てを示しながら、全ての児童が役割をもって積極的に活動に取り組めるようにする。

総合的な学習の時間	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<p>自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質・能力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が課題を自ら設定し、主体的に学べる環境を整える。 ・思いを表現できる手段や場を多く設定し、どの児童の願いも活動に反映できるようにする。

